

1 職場体験事業

学校、家庭、地域社会が一丸となって地域ぐるみで職場体験を実施することで、「地域の子供は地域で育てる。」という機運を高めることを目的に、自分の将来の生き方や進路を模索しはじめる市内6中学校13学級の2年生を対象に、職場体験事業を実施しました。市内162施設の協力、参加生徒388人でした。

2 環境体験学習事業

農林漁業などの体験学習を通じて地域の産業や環境保全などに関する授業を市内6小学校で実施しました。

3 学校防災学習事業

南海トラフや様々な災害に対して志摩市内の学校の児童生徒の「自分の命は、自分で守る力」「安全な行動をとる能力」を身に着ける学習や地域とともに安全で安心なまちづくりを担っていくという意識を身につけるため、市内4小学校と1中学校で防災に関する授業を実施しました。

4 小学校・中学校介助員配置事業

特別支援学級の対象園児、児童生徒や普通学級における要支援対象児童生徒を支援するため、小学校34人、中学校に16人の介助員を配置しました。（学習支援員 小4人・中5人）

5 小学校・中学校就学援助経費

小中学校に在籍する児童生徒で、経済的な理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して学用品等の援助を行いました。

また、特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に対しては、特別支援教育就学奨励費の支給を行いました。

6 学校支援地域本部推進事業

地域学力コーディネーターを設置し、子ども達の学びを保証するため、中学校区をベースとして「しま子ども未来教室」を開催しました。

30年度も、29年度に引き続き、志摩小学校高学年の児童に参加を呼び掛け、学習習慣の確立と基礎学力の定着をめざし、毎週水曜日に志摩文化会館で約1時間の学習支援を行いました。